

# 平成22年度高鍋町事務事業評価表

## ◎事務事業の概要

事務事業名	県畜産共進会奨励金事業					開始年度	
基本目標	活力ある農業の振興					終了年度	
担当課(局)	産業振興課	担当係	農林畜産係	記入者	新名 修	評価者	長町 信幸
21年度決算	35	千円	22年度予算	40	千円	事業の実施方法	<input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 単独
21年度人件費	719 千円		22年度人件費	728 千円		事業従事者数	0.10 人 0.10 人

## ◎事務事業の目的・内容

事業の目的	宮崎県肉畜共進会等出場者の激励及び出場に必要な運搬費用等の負担軽減を目的とする。
事業の内容	宮崎県肉畜共進会等における出場者への奨励金授与。(単価については出場者数に応じて予算額を案分する。)

## ◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	# 出場農家数	出場者の増加はレベルアップにつながる
	2 出場頭数	肉牛枝肉は児湯畜産で15頭の割当があり、JA児湯は例年7~8頭を占めている。肉豚枝肉はJA児湯を代表して毎年高鍋の養豚農家1戸が出品。なお豚は6頭1セットとして出品される。ここでは1セット=1頭とする。
	3	
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	# 出場勧奨回数	農協の協力を得、各種会合等にて出場勧奨
	2	
	3	

## ◎達成状況

指標名		単位	20年度	21年度	22年度
成果指標	出場農家数	目標値	3	3	3
		実績値	2	3	
		達成率	66.7%	100.0%	
	出場頭数	目標値	3	3	3
		実績値	2	3	
		達成率	66.7%	100.0%	
	0				
活動指標	出場勧奨回数	目標値	5	5	5
		実績値	5	5	
		達成率	100.0%	100.0%	
		0			
		0			
		0			

## ◎事務事業の評価

妥当性 (必要性)	◎目的からして町が行うべきか ◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか ◎事業廃止による影響があるのか	奨励金の額に違いがあるものの児湯管内全市町及び農協等関係団体も同様の事業を実施している。事業を廃止した場合、畜産農家の町に対する信用失墜が懸念される。
有効性	◎目標に対して成果は得られているか ◎成果向上のための改善余地があるか	奨励金の単価は、1件につき1万円程度であるため、経済的効果はさほど高いもの町の礼節を示す点では不可欠な事業と考える。
効率性	◎活動量の効果は上がっているか ◎経費や時間の削減余地があるか	畜産農家に対し、気持ちを示すことが重要であることから若干の単価調整は可能。
協働性	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	

事務事業名	県畜産共進会奨励金事業	担当課(局)	産業振興課
-------	-------------	--------	-------

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	◎担当の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	宮崎牛等のブランド確立の為には共進会等の積極的参加を促し、レベル向上を図るべきと考える。	今後の方向性					
			事業の方向性	拡充			○	
				現状維持				
				縮小				
				廃止				
		廃止	縮小	現状維持	拡充			
コスト								

事務事業評価委員会 評価欄	事業	現状維持	◎小さな金額で効率があがるのであれば、率先して進めるべきである。 ◎1件当たりの金額が郡内でもまちまちであるようなので、単価統一を検討してもらいたい。
	コスト	現状維持	